

最近我國產業界に於ける顯著の社會現象は金融資本階級の掩護の下に於る、各種資本家群の労働者に對する攻勢的勢力の集中と提携の強力化である。此の社會現象に對し我等が其社會的地位を擁護し其人間の福利を増進すべき唯一の方途は實に労働戦線の統一と擴充による自己防衛力の増大にある事は多言を要しない事である。此意味に於て我等は平素我國現存の各派労働團體の共同闘争と戦線統一とに努めて來たのであるが、此理想實現の第一歩として又同時に我等の主張が單なる理論陶酔に終るものに非ずして、如何に我等が階級的理想と階級的道德の實踐に對し常に燃ゆるが如き熱意と牢固たる實行力とを有する者なるかを我等自らの行動により證するため、茲に今日我國に現存せる唯二つの海上労働團體は、多年兩者間に存在せる幾多の對立的感情乃至は利害を清算し渾然と融和する事の必要を痛感するに至つた。日本海員組合昭和五年度第六回評議員會は此の情勢を明確に認識し多年の歴史的経緯を捨て、我等の陣營に合流する事を決意せる商船同志會の幹部及其會員に對し衷心より溢るゝが如き敬意と謝意を表しつゝ、茲に滿場一致商船同志會との合同を決議するものである。

日本海員組合昭和五年度第六回評議員會

評議員會 記 録

◎第一回評議員會

日 時 昭和六年五月五日

出席者 五十一名、委任出席者百四十名

決議事項

- 一、會計報告
- 二、昭和五年度總會議案
- 三、昭和六年度大會議案
- 四、役員詮衡委員選任
- 五、其 他

◎第二回評議員會

日 時 昭和六年七月二十日

出席者 六十名、委任出席者百七十三名

決議事項

- 一、事業、會計、人事報告
- 二、授産事業經過報告
- 三、船舶安全法案要旨協議會報告
- 四、門司支部及宿泊所改築
- 五、日本労働俱樂部結成
- 六、海事準備技術委員會